

放課後等デイサービスHERO

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		うまくスペースを使い指導を行っている。戸外なども活用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		現状できる範囲で取り組んでいる。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務改善への意見はできる限り聞き取り改善に努めている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今年度は地域の放課後ディサービスで集まる勉強会に参加できた。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
適切な 支援	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			

援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		打合せ時間をとることが難しく、指導案で活動内容をスタッフ全員に周知している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		毎日時間をとってはいないが、その日の疑問点や問題点については共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
関係機関や保護者との連携関係機関や	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		学校が直接のやり取りを望まない場合は保護者を通しての情報共有になっている
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在医療ケアが必要な利用者様はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現状、支援移行のたいしょうになる利用者はいない。必要に応じ連携が取れるようにする。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修は受けていないがセンターの相談支援員とは連携を取り助言をいただいている。

保護者との連携	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流や活動を共にする機会はない。事業所利用を公表したくない家庭もあり難しい。
	②7	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	○			放課後等デイサービス連絡会、長生郡市総合支援協議会、療育作業部会と不登校部会等に参加した。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	プログラムに組んでのペアレントトレーニングは行っていない。保護者支援プログラムは検討しているが実施に至っていない。
保護者への説明責任等	③0	運営規程。支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			面談という形で時間を向ける事はできていないが連絡帳や送迎時に対面で相談を受けたり様々な話をさせて頂いている。
	③1	保護者からの子育ての悩みに等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			○	今年度保護者会などは行っていない。次年度は計画を実施したい。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			月の行事予定表の配布の他、SNSを利用して活動の様子を保護者に発信している。
③5	個人情報に十分注意しているか	○			

非常時等の対応	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	現時点で外部との直接交流は行っていないが、地域独居老人へのお弁当配布に添えるメッセージカードを作成している。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			緊急時誰もがすぐに対応できるよう掲示している。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			○	3/12オンライン講習を受講予定です。その他社内研修を行います。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			自傷・他害又突発的な飛び出し等で危険と判断した場合等、身体拘束に値することもある旨で胴囲を得ている。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	ヒヤリハットの事例集は作成できていない。必要様式に記入しスタッフ間での共有はできている。